

---

英語が話せる  
ようになる  
7つのマインド

～英語で人生を変える考え方～

藤原 麻美

この度は、『英語が話せるようになる7つのマインド 英語で人生を変える考え方』を手に取っていただき、ありがとうございます。

今や多くの企業で、ある一定以上のTOEICテストの点数を、昇進や昇給の基準としています。一定基準に満たない場合は、減給を課している企業もあります。また、2020年度からは、小学校3年生から英語の授業が導入され、5年生からは、一教科として成績をつけるように全面的に移行すると文部科学省が決定しました。また、2020年には東京オリンピックが開かれ、日本のグローバル化は進みます。ますます英語が必要になってきます。

英語が話せるようになりたい。

そう思い、英会話教室に通ったり、オンラインレッスンを受けたたり、短期留学に行ったりと、様々な方法で英語を学んでいる人も多いことでしょう。そして、この本を手に行っているということは、英語が話せるようになりたいと思っっているのです。

そこで、私から、1つ質問させてください。

あなたは、本当に英語が話せるようになりたいのですか？

会社で決められているから、イヤイヤ勉強している。

周りの人達が英語を学んでいるから、とりあえず自分も学んでいる。

これからは英語が必要だと世間で言われているから、なんとなく。

そんな気持ちで、とりあえず、英語を学んでいませんか？

もし、英語を話せるようになりたいと思っっているけれど、イヤイヤもしくはなんとなく学んでいるのであれば、残念ながらこの本はあなたのお役には立てません。第2章で詳しくお話をしますが、英語を話せるようになるためには、あなた自身が必要があります。でも、あなたが英語を話せるようになりたいと本気で思っているのであれば、この本はきつとお役に立てることでしょう。

この本を書いている私自身、昔は英語が苦手でした。高校に入り、授業のペースについていけず、中学の時は得意だった英語が苦手教科の仲間入りとなりました。英語が苦手だったのにもかかわらず、様々な事情やきっかけで、アメリカの大学に留学しました。もちろんその時の英語力はひどいもので、何を聞かれても「Yes」と「No」で答える始末でした。また、初対面の人には自分の名前を伝えることで精一杯で、「Nice to meet you.」すら言えませんでした。そんな私が、アメリカで過ごし

た3年間、また、帰国してから勤めていた学習塾や英会話教室で直面した問題から、英語コンサルタントとして起業し、今では英語を教えています。

英語が話せるようになるためには、特別な能力がいるわけでも、私みたいに必ず留学しないとイケないわけでもありません。ただ、英語が話せるようになるために、必要なことがあります。それは、

マインド（考え方）×技術（英語力）×習慣（継続力）

の3つの柱です。

多くの人は英語が話せるようになるために、まず、技術である英語力をつけることに目を向けがちです。もちろん、英文法や英単語などの必要最低限の英語力も、英語を話す上では必要です。でも、それだけでは、なかなかあなたが思い描くように

は、英語が話せるようにはなりません。英語が話せるようになるには、

・今のあなたが常識だと思っている考え方を柔軟にし、英語を話す時の心の持ち方を身につける 〓 マインド

・自分の言いたいことを伝えられるようにするだけの英文法や英単語、フレーズなどの英語力 〓 技術

・その英語力を自分のものにするために、自分に合った方法で学び続ける継続力 〓 習慣

この3つが揃って、初めて思い描くように話せるようになるのです。逆に言うと、その3つの柱のうちどれか1つでも欠けると、思うように英語を話せるようにはなりません。もし、今あなたが、英語が話せるようにならないと思っているのであれば

ば、3つのうち、どれかが欠けている可能性があります。

この本では、3つの柱のうち私達が英語を学ぶ上で、最も重要で、学校では教えてもらわなかった「マインド」の部分についてお話していきます。

英語とはそもそも何なのか？

なぜ、私達日本人は英語が話せるようにならないのか？

アメリカ人と日本人の考え方の違い。

など、この本を読み終わった頃には、今までの常識が緩み、考え方が変わっていることでしょう。その新しい考え方と、英語を話す時の「マインド」を身につけて、皆さんがより英語を好きになり、話せるようになることを願っています。